

# 阿賀野川流域地域フィールドミュージアム事業 イベント系事業の方向性について(案)

H21.5.26

## 1. 事業実施の方針

- イベント系事業では、「もやい直し」を最終目的とする FM 事業が地域から受け入れてもらえるよう、ロバダンやイベントを通じた「下地づくり」を実施。
- 具体的には、地域別に二年越しでテーマを絞り込みながら、少しずつ新潟水俣病が取り扱える状態に近づいていく。また、ロバダンやイベントづくりを通じて、FM 事業を地元を知ってもらい、少しずつ新しい地域づくりへ向かわせる。
- その結果、新潟水俣病の教訓の普及啓発や、地域の再生・融和が図られる。

### 【イメージ図】



## 2. 具体的方策

下記仕様の各種イベントを、地元と協働しながら、上流→中流→下流単位で実施。

	地域資源から… (1年目)	➡	新潟水俣病から… (2年目)
題材	光と影を併せ持つ地域資源		新潟水俣病も取り上げる
ポイント	地元住民との協働・参加を重視		影だけでなく、光の部分も重視

※実施するイベント事業ほぼ全てが、環境体験プログラム策定へ結実するよう企画し、地域づくりの柱となる環境体験プログラム事業のサポート機能も兼ねる。  
 ※様々なイベント企画案は性急に実施せずストックしておき、実現可能性を模索。

## ● H21 年度の各種イベント

- ※ H21 年度は、上流の阿賀町にて、光と影を併せ持つ地域資源「草倉銅山」を中心に、下記事業を企画。草倉銅山の環境体験プログラム策定も兼ねる。
- 企画パネル展：「草倉銅山の光と影」をテーマとした企画パネル展を、地元住民と協働しながら制作する。9月の1ヶ月を通じて、旧4町村の各旅館を巡回展示してはどうか？（ツアー紹介、旅館による紙芝居の朗読も併用）
  - 草倉銅山ツアー：希望する住民を対象に、草倉銅山や龍蔵寺を訪れるツアー。

## ●紙芝居制作

- ・光と影を盛り込んだ、多角的な視点でテーマを取り扱う紙芝居の制作。
  - ・数年かけて、テーマを新潟水俣病へとしぼっていく。
  - ・各種事業での併用、ロバダン・小・中学校の環境学習における活用
- 1年目：「草倉銅山」をテーマとした紙芝居制作。
  - 2年目：「阿賀野川の歴史」をテーマとした紙芝居制作。
  - 3年目：「新潟水俣病」をテーマとした紙芝居制作。



## ●阿賀野川のごっつお

- 各企画イベントの昼食として、阿賀野川流域各地の「ごっつお」を提供。
- 「食」を通じて、阿賀野川流域地域での、昔ながらの自然との関わり方を学べる環境体験プログラムを策定する。

## 3. スケジュール

地域\年度		H20	H21	H22	H23	H24
上流	地域資源を発掘	----->X				
	新潟水俣病も…		—————>X			
中流	地域資源を発掘		----->X			
	新潟水俣病も…			—————>X		
下流	地域資源を発掘			----->X		
	新潟水俣病も…				—————>X	

※中流は、五泉市（阿賀野川沿い等）・阿賀野市（安田・水原・京ヶ瀬等）を指す。